



新しい“働き方”を考えるシンポジウム - 家庭、職場、もうひとつの居場所のある人生 -

国内市場の成熟に伴う企業・市場のグローバル化、少子高齢化に伴う労働人口の減少、女性の社会参画など日本の「働く」環境は現在変化の渦中にあります。また、働く人の価値観の多様化が進み、大手企業では副業解禁を開始するところもあり、政府でも「働き方改革」が促進されています。

市外に働きに出ている市民が多い住宅都市生駒市において、このシンポジウムを開催することにより、新しい働き方、生き方を考える場を提供し、市民活動の推進、市の経済活性化を図ります。

なお、このシンポジウムは、新しい居場所、サードプレイスを作りたいと思っている市民を対象とした全 10 回の無料講座「ららゼミ ジモト塾」の第 1 回講座を兼ねています。

■ 今の仕事と違う何かを探すシンポジウム

～新しい働き方、新しい人生～

- ◇ と き 6 月 4 日（日）14 時～16 時 30 分
- ◇ と ころ コミュニティセンター 文化ホール
- ◇ 内 容

1. 基調講演

「眠っているもう一つの可能性を开花させよう」

講師 ロート製薬(株) 広報・CSV 推進部副部長 矢倉 芳夫さん

大手企業として日本でもいち早く副業解禁の制度を社内に取り入れた実績をもとに、本業以外にもうひとつ活動することの意義について語ります。

「本棚のWA」第 1 話『地ビールは大好き』で講師としてお迎えするゴールデンラビットビール代表の市橋健さんは、ロート製薬(株)にお勤めで、この制度を活用されています。

2. 講演

「生駒での新しい働き方とは？テレワーク・起業・コワーキング」

講師 (株)ワイズスタッフ 代表取締役 田澤 由利さん

在宅勤務やテレワークなど新しい働き方を提案し、新しい生き方についても考えます。

3. 矢倉芳夫さん、田澤由利さん、小澤晃広さんによるトークセッション

奈良に縁のある 20～40 代の人たちが、奈良の魅力を発信する団体「奈良東京 2030 年会」の会員である小澤晃弘氏をまじえ、それぞれの立場からサードプレイスとそのあり方について語り合います。